

那珂川市図書館

オススの1冊

『10代からの情報キャッチボール入門』

下村 健一／著 岩波書店 児童書【361 ｼﾂ】

「一日の中で、食事に使っている時間は？」「一日の中で、移動に使っている時間は？」「では、一日の中でメディアと接している時間はどのくらい？」第一章の冒頭、こんな質問から始まります。

新聞紙や週刊誌の販売数は減少している昨今ですが、スマホやパソコンを使い自分の欲しい情報を調べ収集している人は増えているのではないのでしょうか。また、SNSが普及し様々な情報が飛び交うインターネットでは、いわゆるプロと呼ばれる人達だけではなく、一般の人が個人で調べ発信した情報も多く出回っています。そんな精査されていない情報が身近に溢れている今、私たちが正しい情報を取捨選択するには情報を収集する側の力が必要です。偏見にとらわれず、一部の情報に踊らされず、正しい情報を見極め、理解し自分の知識とする。

人間には、危機回避のために見えない部分を想像して勝手に補ってしまう脳の癖があるそうです。そういう脳の癖を知り、多角的に物事をとらえるための考え方を知る。この本には、視覚に関する簡単な実験も交えて、正しい情報を受け止める方法が書かれています。一見難しそうに思えますが、とても読みやすく、例えを交えてわかりやすく説明されているので、10代から大人まで、幅広い年齢層の方に楽しんでいただけたらと思います。

那珂川市図書館司書（ハチ公）